

催吐リスク
最小度～軽度
放射線併用なし

投与プロトコール 1コース:28日間 制限なし 《開始時基準 PS:0-2、年齢:18歳以上》	投与量	投与日	投与時間	備考
--	-----	-----	------	----

1コース目

ルートKeep	生食 500mL	—	day1,8,15,22	—	
内服	レナデックス錠		day1,8,15,22	※1 1日 1回	※1 レナデックスは、 サークリサ投与の 1時間前に服用
	□ 75歳未満:40mg/body/日	mg			
	□ 75歳以上:20mg/body/日	mg			
プレメディ(内服)	※2抗ヒスタミン剤+解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン1000mg)		day1,8,15,22	30分前	※2 プレメディは、 サークリサ投与の 30分前に投与
プレメディ(注射)	※2H2R拮抗剤 + 生食20mL		day1,8,15,22	30分前	
プレメディ投与後30分(レナデックス服用1時間)経過して、サークリサの投与を開始する					
①	サークリサ:10mg/kg	mg	day1,8,15,22	下記 参照	
	生食(250-サークリサ注入量)mL				
内服	ポマリスト:4mg/body/日	mg	day1-21	1日1回	眠前

2コース目以降

ルートKeep	生食 500mL	—	day1,15	—	
内服	レナデックス錠		day1,8,15,22	※1 1日 1回	※1 サークリサ投与日の レナデックスは、 サークリサ投与の 1時間前に服用
	□ 75歳未満:40mg/body/日	mg			
	□ 75歳以上:20mg/body/日	mg			
プレメディ(内服)	※2抗ヒスタミン剤+解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン1000mg)		day1,15	30分前	※2 プレメディは、 サークリサ投与の 30分前に投与
プレメディ(注射)	※2H2R拮抗剤 + 生食20mL		day1,15	30分前	
プレメディ投与後30分(レナデックス服用1時間)経過して、サークリサの投与を開始する					
①	サークリサ:10mg/kg	mg	day1,15	下記 参照	
	生食(250-サークリサ注入量)mL				
内服	ポマリスト:4mg/body/日	mg	day1-21	1日1回	眠前

◆サークリサの投与速度について(右表:サークリサ添付文書より抜粋)
 ※速度(mL/hr)の詳細についてはサークリサ適正使用ガイドを確認すること
 サークリサは、175mg/時の投与速度で点滴静注を開始する。□
 Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら、
 投与速度を右表のように段階的に上げることができる。
 ただし、投与速度は400mg/時を超えないこと。

投与時期	投与速度 (mg/時)	
	初回投与	2回目投与以降
投与開始 0～60分	175	175
投与開始 60～90分	225	275
投与開始 90～120分	275	375
投与開始 120～150分	325	400
投与開始 150～180分	375	400
投与開始 180分以降	400	400